

平成30年度3回福崎町地域公共交通活性化協議会会議録

1. 日時 平成30年12月27日(木) 14:00~15:00

2. 場所 福崎町役場庁舎 2階 大会議室

3. 委員の出欠

	所属・役職等	氏名	備考
会長	兵庫県立大学名誉教授	松本 滋	
委員	福崎町区長会副会長	黒田 義孝	
	福崎町老人クラブ連合会長	藤岡 修	
	福崎町商工会長	谷口 守男	
	J R西日本福崎駅 副駅長	永井 英樹	(欠席)
	神姫バス株式会社 姫路営業所長	魚谷 観	
	社団法人 兵庫県バス協会専務理事	中澤 秀明	
	社団法人 兵庫県タクシー協会 西播支部副支部長 (神崎交通株式会社)	依藤 義光	
	神姫バス労働組合 執行委員	濱田 崇広	(欠席)
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門首席運輸企画専門官	岩野 住之	
	中播磨県民センター姫路土木事務所 企画調整担当所長補佐	當舎 良章	
	福崎警察署 交通課長	新田 隆弘	
	福崎町議会議員 (民生まちづくり常任委員会)	小林 博	
	福崎町議会議員 (総務文教常任委員会)	三輪 一朝	
	副町長	尾崎 吉晴	
技監	吉栖 雅人		
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所 道路管理第二課長	竹内 浩二	(欠席)
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 副課長	正垣 あおい	

事務局	まちづくり課長	福永 聡	
	健康福祉課長	三木 雅人	
	健康福祉課課長補佐	大畑 由起	
	まちづくり課係長	藤田 裕文	
	まちづくり課主査	佐野 允保	

姫路市	交通計画室長	植田 敏勝	
	交通計画室主幹	福島 章	
	交通計画室係長	菊本 通弘	

4. 配布資料

- ・次 第
- ・座席位置表及び委員名簿
- ・資料1 H30.10.1再編及び公共交通利用促進施策の取り組み状況について
- ・資料2 サルビア号及び大学バスの利用状況等について
- ・資料3 来年度に向けての取り組み（案）について
- ・姫路市夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシーの社会実験について（パンフレット）
- ・第39回EST創発セミナー in 姫路〔近畿〕開催のお知らせ（開催チラシ）
- ・巡回バス等時刻表及び利用促進チラシ

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人1名。

6. 会議録（司会 まちづくり課長）

1 開会

2 あいさつ（松本会長）

3 報告事項

(1) H30.10.1再編及び公共交通利用促進施策の取り組み状況について

会 長 それでは 報告事項(1)「H30.10.1再編及び公共交通利用促進施策の取り組み状況」について事務局に説明していただきます。

事 務 局 報告事項1 H30.10.1再編及び公共交通利用促進施策の取り組み状況について説明いたします。資料1をご覧ください。

（資料1、P2）

こちらは10月1日から運行を開始している川西便の始発便出発の様子と川東地区で運行している福崎インターバス停の状況写真となります。川西便のラッピングについては、川西地区をイメージした図書館やさるびあドーム、七種の滝などを使用しています。またフロント部分には本町の特産品であるツノナスをイメージした「ツノっちゃん」をフクちゃんサキちゃんとともに貼り付け、他の地区のバスとの差別化をはかっております。

福崎インターバス停の設置については、ネクスコさん及び播但有料道路管理事務所さん及び兵庫県警高速道路機動隊と調整を実施した結果実現したバス停となり、高速バス「福崎インターバス停」の真横までデマンドバスで行くことができますので、今後の利用が期待される停留所です。

（資料1、P3）

こちらは、10月1日に実施した大学バス運行開始式の様子とその新聞

記事となります。ご覧いただいておりますように、松本会長をはじめ、兵庫陸運部長様、神戸医療福祉大学足立様を来賓としてお迎えし、地元区長さまなどもお招きし開催させていただきました。

(資料1、P4)

翌日の10月2日には、隣接する市川町との連携コミュニティバスの運行が開始され、市川町役場にて運行開始式を挙げていただきました。左側はその様子を伝えた新聞記事となります。本町のサルビア号始発便と市川町のコミュニティバスが横に並び連携する様子が写真に納められています。右側は市川町さんが作成された連携コミバス利用方法及び利用促進チラシとなります。運行ルートや行ける施設などを非常に分かりやすく示されていると思います。

なお、この市川町との連携コミバスの取り組みについては、来月、1月27日の午前8時30分からサンテレビの情報番組「ひょうご発信！」で紹介されることとなっていますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

(資料1、P5)

次に、本年度実施している利用促進施策の取り組み状況について報告させていただきます。

内容としては、主に地区ごとに実施している公共交通利用者説明会の実施状況となります。6月24日から説明を開始しており、12月20日時点のデータです。実施済みが25地区、今後実施予定が3地区、計28地区での開催を予定しています。実施不要申出地区7地区については、11月15日、区長文書で利用例を回覧させていただきました。合計参加者は約580名となりました。アンケートも実施しており、その回収数は510枚です。集計状況及び自由意見については、次のページで説明いたします。

(資料1、P6)

川西地区では「利用したい」が50%を超えており、利用したいと思われた方が多かったと感じています。自由意見では、「買い物する時間が短い。ゆとりが欲しい」というご意見がありました。一番多かったのは「川西から川東へ行くのに乗り換えが大変」という意見です。特に商業施設、ライフへ行きたいと考えられる方が多いようで、こちらの乗換負担がかなりあるというご意見がありました。今から利用するには、やはり慣れが必要だとおっしゃる方がかなりいらっしゃいました。また、乗ってみないと分からないということで体験ツアー開催希望もありました。この度は神崎総合病院へつないでいるのですが、マリア病院や加西病院へも行けるような施策を考えてもらいたいという声もあったのですが、こちらはすぐには難しいと思っています。また、運転免許の返納が非常に不安であるというお声もいただいております。また、バスの乗車場所までが

遠いというお声もいただいています。詳細については、別にお付けしている資料を後ほどご覧ください。

(資料1、P7)

次に、巡回バス等利用促進チラシについてです。これはカラーでお配りさせていただきました。左上に無料乗車券をお付けしています。このたび変わった項目として、表面にはまちなか便・大学バス・郊外便・買い物バスを記載しています。

(資料1、P8)

裏面は、市川町連携コミバス及び運転経歴証明書についての説明を記載しています。左下には巡回バス等時刻表・路線図検索サイトについて記載し、ホームページ等で見られるようになったことを紹介しています。

(資料1、P9)

路線バス及び高速バス利用促進チラシの配布についてです。バス停がどの辺りにあるか分かりにくいということで作成しました。線につながっているものは、定時定路線型のバス停です。点のバス停は予約運行型のバス停を示しています。コミュニティバスのバス停は97カ所あります。神姫バスさんのバス停もあることから、神姫バスさんの協力も得ながら作った資料です。

(資料1、P10)

こちらが神姫バスさんの時刻表及び運賃です。65歳以上の運転免許証自主返納者は、運賃が半額になる旨の記載があります。また、バスのドライバーが不足しているということで、募集していることをPRしています。右下に高速バスの記載があります。自治会を説明に回るなかで、朝だけですがUSJにも乗り継ぎなしに直接行けるということを伝えると、みなさん興味をもたれていました。

(資料1、P11)

11月から開設している、福崎町公共交通総合ホームページについてです。福崎町のホームページにあるバナーをクリックしていただくと見ることができます。これはパソコンだけでなく、スマートフォンからも確認することができます。コミュニティバスだけではなく、大学バス・連携バス・路線バス・高速バス・JR・タクシーといったように、本町の公共交通ほぼ全てを網羅しています。ご覧いただければだいたい全体が分かるということになります。これもまた時刻表等が変われば、変更の必要性が出てきます。順次更新をしていきたいと考えています。

(資料1、P12)

公共交通利用促進施策の取り組み状況、コミバスサポーター制度です。八千種の城谷医院さんからベンチ2基を寄付いただきました。このような申し出があればうれしいなということで、次年度以降もこういうところに参加いただける企業さんを増やしていきたいと考えています。下側

に運転免許自主返納特典について記載しています。もぎむぎのやかた・河童のさんぽ道・マリーポワラヌ・福伸電機(株)さんに新たに協賛いただきました。

以上で、協議事項1の説明を終了します。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。
(なし)

(2) サルビア号及び大学バスの利用状況等について

会 長 それでは 報告事項(2)「サルビア号及び大学バスの利用状況等」について事務局に説明していただきます。

事 務 局 報告事項(2)「サルビア号及び大学バスの利用状況等」について説明いたします。資料2、2ページをご覧ください。

(資料2、P2)

こちらは、平成30年度で、11月までの巡回バスに係る利用者数をお示ししております。

この巡回バスの改編等を10月1日から行いました。

改編等の内容については、この表の下に列記させていただいております。

改編路線については、①まちなか便を1便増便し、1時間繰上げ運行しています。②郊外便(川西)を奇数日運行から月～土曜日運行に変更しています。③郊外便(川東)を偶数日運行から月・水・金・土曜日運行に変更しています。

新規路線については、④買物便(大貫・八千種)を火・木曜日運行としています。⑤市川連携(デマンド・定時定路線)を火・木曜日運行としています。⑥大学バス(市町村運営有償旅客運送)月～土曜日運行としています。

表について説明します。平成30年度全体の利用者数をみますと、災害規模の猛暑や台風・豪雨などの悪天候が重なり、高齢者が多く利用されているからか、どの路線においても全体的に減少している状況です。前年比較みますと、まちなか便1日あたり3人、郊外便で2人の減となっています。

まちなか便の利用者数ですが、平成29年度は49.1人平均でしたが、車両不良が影響したのか、11月は利用者数が減少しています。平成29年度の10月まで利用者数の実績を比較すると、駅前での乗車が延べ約150人減しています。

駅から役場で乗り換えて、川東便の上中島にある医療機関への利用者数が減少しており、福崎駅での乗車が少なくなっているものと思われます。また、馬田、新町等の利用者数も減少しており、よく利用されていた方が利用されなくなったのが利用者数の減と思われます。

川西便については、奇数日運行から月～土の運行増となり、9月と比較

いただいても利用者数が増加し、日平均もさほど落ちることなく順調に推移しています。

川東地区については、電話予約は必要ですが、偶数日運行から、月・水・金・土の曜日指定の運行となりました。また、10月からライフ、もちむぎのやかた、文化センターなどにまちなか便に乗り継ぐことなく、直接行くことができるようになり、利便性が向上しました。

前年度と比較し、大幅な減は、先ほど申し上げたように上中島への通院の減少があります。買い物便については、大貫コース、八千種コースの2つがあり、電話予約をすることなく、定時定路線の運行となっています。運行日は火曜日と木曜日で、午前・午後を入れ替えた運行となっています。こちらについては、主に町内の商業施設をまわり買物目的の運行となり、図書館にも行けるといえるものです。利用実績はご覧のとおりです。

平成30年6月から、10月改編に向けて自治会説明会を実施しています。説明会をさせていただいて、初めて利用の仕方やバスの路線などを理解いただいたという方もいらっしゃいました。

先日、八千種地区の2自治会で説明会が終わり、熱心に聞いていただいたところです。11月中旬に配布しました利用促進チラシのお試し券も一度利用したいとの声も聞いておりますので、これからの利用につながっていくのではないかと考えています。

市川連携バスですが、火・木曜日の運行で、市川町と福崎町をコミュニティバスで結び広域的に地域公共交通の利便性を高めたものとなっています。

福崎町では前日までに電話予約し、市川町コミバスを乗り継ぎ、神崎総合病院に通院することが可能となります。神崎総合病院の診察も、初診の場合は難しいですが、予約の場合は11時半には終わりますので、利用者の身体的な負担も軽減し、ご自分で通院ができるというものです。定時定路線運行は、市川町役場とラムー前を結び時刻表通りに運行する路線となっており、利用実績はご覧のとおりとなっております。

(資料2、P3)

大学バスの利用者はご覧のとおりです。神戸医療福祉大学のバスを、月～土曜日、福崎駅前からボンマルシェ前のバス停をつなぐバスです。午後5時前から午後10時前までの5便を運行しています。福崎駅周辺の方などはちょっとした買物などに便利なバスとなっています。

ただ、学生の多く乗ったバスに乗車するため抵抗感があるとお声は聞いております。その辺りを払拭できるよう、広報活動に努めます。

全体的に人数が減少していますので、広報・ダイヤ等を検討しながら、来年度以降、利用者増につなげていきたいと考えております。

以上で、報告事項2についての説明を終了します。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。
(なし)

(3) 来年度に向けての取り組み(案)について

会 長 それでは 報告事項(3)「来年度に向けての取り組み(案)」について
事務局に説明していただきます。

事 務 局 報告事項(3) 来年度に向けての取り組み(案)について、説明いたし
ます。資料3をご覧ください。

先ほど利用実績の説明もありましたが、なかなか難しいというのが実際のところ
です。これを何とか上り調子にしていくために、いろいろ変えてい
かないといけないと思っています。

(資料3、スライド2)

まず、まちなか便です。現在は必ず文珠荘で13分休憩するため、福崎
駅からもちむぎのやかたへ行きたい方が、一旦文珠荘で止まってしま
います。こういった弊害を少しでも軽減できないかということで、午前中
は休憩場所をもちむぎのやかたへ変更させていただきたいと考えていま
す。午後は逆回りになるのですが、休憩場所を図書館に変更できないか
と考えています。こちらは神姫バス様と協議させていただきたいと考
えています。

次、予備車対応の検討等についてです。利用にばらつきがあるため、ま
れに車に乗りきれないことがあります。その際に何らかの形で予備車対
応を考えていく必要があるのではないかと考えています。

次に、川西便です。こちらは「乗り継ぎ負担の軽減」要望が強くありま
す。具体的にはライフやもちむぎのやかたへ行きたいという方が非常に
多くあります。これをダイヤ等の検討で、何とかできないかと考えてい
ます。

次、バス停増設検討です。例えば山崎区はかなり広い自治会ですがバス停
が1箇所しかありません。公民館や二之宮神社にバス停を作ってもら
いたいという要望が強くあります。何とか二之宮神社にバス停が作れな
いかと考えています。神谷区からも1箇所増設要望があります。

次に、川東便です。バス停が遠いという声がありますので、バス停の増
設も検討したいと思っています。

次に、買い物便です。川東地区では「定時定路線」のご要望が多かった
のですが、なかなか思ったような結果が残っていないというのが実際の
ところ。市川町でも買い物バスを運行されているのですが、フリー
降車を一部導入されていると聞いています。全バスでは難しいですが、
本町でも一部路線でフリー降車を導入できないか検討したいと思ってい
ます。これは兵庫陸運部様・福崎警察様とも協議が必要と考えています。

次に、市川町連携コミバス・大学バスです。先ほども申し上げましたよ

うに、引き続き広報活動が続けていきたいと考えています。

次に、姫路市連携コミバスです。こちらは福崎町の地域公共交通網形成計画に記載しているものです。運行の研究を実施していきたいと考えています。

(資料3、スライド3)

その他(案)です。

バス停の増、またJR福崎駅前も新たに生まれ変わろうとしていますので、そちらにも伴って時刻表の改編が必要だと考えています。来年10月にできないかなと思っています。

次、利用促進チラシです。少し簡易なものになるかもしれませんが、検討していきたいと考えています。

時刻表の変更に伴い、公共交通HPのメンテナンス及び広報活動をしていきたいと考えています。

次、コミバスサポーター募集継続です。コミバスの運行をサポートしていただける企業を引き続き探していきたいと考えています。

次、モビリティマネジメント活動の継続です。本年度は全自治会に対して実施要請を行いました。来年度以降は例えば出前講座による利用者説明会等を実施し、何とか利用者数を増やしていきたいと考えています。以上で、報告事項3についての説明を終了します。

会 長 フリー降車というのは、主に帰りのことですか。

事務局 買い物をする、帰りは荷物がありますので、バス停から家までが大変だという声を聞いています。路線上限定になりますし、路線上であればどこでも、というのも難しいです。交通量の少ないところだけでも実現できないかと思っています。こちらは特に、福崎警察様との調整が必要だと思っています。

会 長 他にありませんか。

(なし)

(4) 姫路市夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシーの社会実験について

会 長 それでは 報告事項(4)「姫路市夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシーの社会実験」について姫路市さんに説明していただきます。

姫路市 報告事項(4) 姫路市夢前町前之庄地域デマンド型乗合タクシーの社会実験について説明いたします。

「姫路市における地域公共交通の導入について」をご覧ください。こちらで少し姫路市の公共交通について説明させていただいた後、今回の乗合型デマンドタクシーの社会実験について説明させていただきます。

姫路市は平成18年に1市4町が合併し、市域が534km²と非常に広大となっています。このため、全域における移動の確保、公共交通の活性化について改めて全体的な計画を見直す必要が出てきました。JR姫路

駅・山陽電車姫路駅を中心に鉄道・路線バスが放射状に延びており、中心市街地では、サービス水準は一定程度確保できている状況ですが、郊外部を中心に、徒歩で最寄りの駅やバス停にアクセスすることが難しい地域（公共交通空白地域）や公共交通の運行頻度が極めて少なく利用しにくい地域（公共交通不便地域）が散在している状況にあります。こういったことから、将来のまちづくりを見据え、交通弱者といわれる学生や高齢者の方の移動の確保を考えるため、平成20年度に姫路市総合交通計画を策定し、取り組みを進めています。そのうちの 하나가、地域公共交通の導入ということで、コミュニティバス等の導入をはかることとしています。今後、高齢化の進展等により、公共交通空白地域・不便地域においても自家用車に頼らず移動が確保できるというのが、本市にとって非常に重要な考え方となっています。

2. 事業目的です。コミュニティバスや乗り合いタクシーを導入するにあたっては、地域特性をしっかりと考慮した多様な事業手法を用いた地域公共交通を導入するとなっています。

3. 基本方針です。2番と3番に示すとおり移動需要に応じた公共交通手段の導入を進め、既存の公共交通機関（鉄道・路線バス等）との共存を図りながら進めていくこととしています。

4. これまでの取り組みです。下記の表に示す通り、香寺・家島・飾東・坊勢でコミュニティバスの社会実験を実施しました。家島・坊勢は目標を上回ったことから、現在も本格運行を行っています。一方、香寺・飾東においては目標値を下回る結果となり、休止となっています。

5. コミュニティバス等地域公共交通導入ガイドラインの策定です。この4地域の社会実験で得られた知見を基に、需要の弱い地域においても移動の確保を図っていくため、平成27年にコミュニティバス等地域公共交通導入ガイドライン策定しました。こちらでは導入検討手順を明確化し、地域の特性に合った、身の丈に合った運行計画立案を行うこととしています。さらに、コミュニティバス等を導入するにあたり、公的負担と利用者負担についても基準を明確化し、運行計画を策定することとしています。

最後に、6. 運行計画の検討です。ガイドラインに基づき、利用希望者（交通弱者）を自治会において抽出いただき、個別に利用目的や要望等のヒアリングを実施しています。結果として、夢前地域の生活圏が福崎町と一体的であり、福崎町への移動需要が把握できました。そういったことからデマンド型乗合タクシーを、行政界を越えて運行させていただけないか相談させていただきました。社会実験ではありますが、ご了解を得ているところです。

その下の表についてですが、線で囲んでいるところは公共交通が弱い地域であると位置づけています。この地域について、優先的に地域公共交

通を充実させていくこととしています。

続いて「姫路市デマンド型乗合タクシー運行の社会実験について」をご覧ください。

1. 社会実験の実施期間です。平成31年1月21日から同年3月29日を予定しています。
2. 運行事業者です。この会議にも出席されている神崎交通株式会社に担っていただきます。
3. 運行曜日及び時間です。月曜日は前之庄地域内のルートとして1日3便（往復）を運行し、水曜日、金曜日に福崎町ルートを1日1便（往復）運行する予定です。行きは福崎町の旬彩蔵まで、帰りはJR福崎駅から前之庄に戻るコースとなっています。曜日により、水曜・金曜にご覧の地域を運行することとなります。なお、旬彩蔵から町内に向けては福崎町のコミュニティバスを利用させていただきたいと考えています。
4. 利用料金表です。料金については、乗合事業の推進という観点から、利用人数に応じてインセンティブを働かせるため、乗車人数によって料金に差を付けており、人数が多いほど料金が割り引かれるようになっています。特に、福崎ルートにおける1人の料金設定では、運行距離や近隣のタクシー事業者への影響を考慮し、差別化を図るための設定とさせていただいています。
5. 利用方法です。一般的な利用方法である事前登録制です。事前登録を利用日の前日までに行い、利用予約は利用日の7日前から前日の15時までとしています。そして、神崎交通株から利用者へ迎車時間連絡があり、その後は、乗車→目的地で料金の支払いとなります。なお、現時点の事前登録者数は、前之庄地域で約40名となっています。
6. 運行イメージ図です。先に説明した内容を図に表しています。最後になりますが、今回は社会実験で福崎町のコミュニティバスを利用させていただきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上で、報告事項4についての説明を終了します。

会 長 この資料（姫路市デマンド型乗合タクシー運行の社会実験について）は姫路市民向けのものなのでしょうか。

姫 路 市 この資料は本日の協議会用の説明資料です。市民向けには説明会等で用いた別のパンフレットがあります。

会 長 福崎町のコミュニティバスに接続する形ですが、福崎町のコミュニティバスがどんなものであるかというのは、姫路市民、前之庄の方に分かるのでしょうか。

姫 路 市 抜粋版ですが、資料に記載しています。

会 長 福崎町のコミュニティバスでは、別途料金を支払うのですか。

姫 路 市 福崎町のコミュニティバスをご利用いただいた場合、規定の料金をお支

払いいただきます。

- 事務局 社会実験を2カ月された後の展開は、どのようになりますか。
- 姫路市 社会実験は平成31年3月29日まで実施し、そこで一旦中止します。社会実験で得られた知見、例えば利用者の声や運行事業者の意見を分析し、よりよい運行計画、ルートや料金等を決定し、本格運行を目指していきたいと思います。本格運行については、正式に道路運送法4条の申請をさせていただきます。その折には、改めて福崎町様の地域公共交通会議、それから姫路市の地域公共交通会議の両方に諮ることになります。そういった手続きを踏みますので、夏から秋にかけての本格運行開始を現在予定しています。
- 会長 一人乗りの場合、福崎町までの料金が高いですが、これは通常のタクシーを利用するよりは安いのでしょうか。
- 姫路市 前之庄も広いですので、福崎町に近いところでは料金が逆転するところがあります。ただ、乗合を進めていくという観点と、既存のタクシー業者さんとの共存を考えますと、一人乗りというのは単なる格安タクシーになりかねません。このため、一人乗りの場合は料金を高めに設定させていただきました。社会実験の中で運行事業者の意見も聞きながら、本格運行時の一人乗り料金は改めて考えていきたいと思っています。
- 会長 当日、乗ってみないと人数・料金が分からないということになるのでしょうか。
- 姫路市 前日15時までの予約となります。お手間を取りますが、運行事業者で利用者数は分かりますので、確認電話の中で、利用料金は事前に分かってきます。
- 会長 キャンセルが生じた場合はどうなるのでしょうか。
- 姫路市 キャンセルは前日15時までに連絡いただくよう説明会で説明していますが、当日の急なキャンセルも出ると思います。しかし、キャンセルが生じた段階で他の利用者に連絡を取るとするのは難しいため、大変申し訳ありませんが、人数に応じた料金をお願いすることになります。利用者とのトラブルも想定できますので、社会実験の中で当日キャンセルの度合いなども把握しながら、そういったトラブルが発生しないような料金体系や予約方式についても考えていきたいと思っています。
- 会長 料金体系を見ると、もし一人の利用になるのであれば遠慮しますということになると思います。
- 姫路市 おっしゃるとおりだと思います。3,500円という金額が妥当なのか、社会実験の中で確認をしていきたいと思っています。2カ月半の社会実験ではありますが、当初1カ月の運行を終えた時点で、そういったお声が多数あり利用が進まない、また当日のキャンセルが多いというようなことであれば、社会実験の中で対応可能か国の方とも相談しながら進めたいと思います。

会 長 福崎町でも利用者により運行ルートや時刻表が変更になることがあります
すが、姫路市側の事情は考慮しなくてもよいのでしょうか。

事 務 局 接続を予定されている「まちなか便」はルート変更する予定がありません
ので、その対応は問題ないと思います。

会 長 分かりました。福崎町にとってはお客さんが来てくれるということで、
悪い話ではありません。
他にありませんか。
(なし)

4 その他

(1) 第39回EST創発セミナー in 姫路 [近畿] 開催のお知らせ

会 長 4 その他(1)「第39回EST創発セミナー in 姫路 [近畿] 開催
のお知らせ」について姫路市さんに説明していただきます。

姫 路 市 その他(1)第39回EST創発セミナー in 姫路 [近畿] 開催のお
知らせについて説明いたします。開催チラシをご覧ください。
(資料説明)

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。
(なし)

会 長 ご質問がないようですので、事務局に司会を戻します。

6 閉会

事 務 局 会長ありがとうございました。
以上をもちまして、平成30年度第3回福崎町地域公共交通活性化協議
会を終了させていただきます。ありがとうございました。

—以上—